

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3812786号

(P3812786)

(45) 発行日 平成18年8月23日(2006.8.23)

(24) 登録日 平成18年6月9日(2006.6.9)

(51) Int.Cl.

B6OR 13/02 (2006.01)

F I

B6OR 13/02

Z

請求項の数 3 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願平10-259608	(73) 特許権者	000002082
(22) 出願日	平成10年9月14日(1998.9.14)		スズキ株式会社
(65) 公開番号	特開2000-85490(P2000-85490A)		静岡県浜松市高塚町300番地
(43) 公開日	平成12年3月28日(2000.3.28)	(74) 代理人	100060069
審査請求日	平成15年8月15日(2003.8.15)		弁理士 奥山 尚男
		(74) 代理人	100077713
			弁理士 武田 正男
		(74) 代理人	100072143
			弁理士 秋山 暢利
		(74) 代理人	100096769
			弁理士 有原 幸一
		(74) 代理人	100099623
			弁理士 奥山 尚一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車のダッシュサイドトリムの取付構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダッシュサイドパネルの室内側からフロントピラー部にかけて配設されるダッシュサイドトリムの取付構造において、左右のダッシュサイドパネル相互間に配設されるインストルメントパネルの両側下面に上記ピラー部の接合部に組み付ける組み付け部を設け、この組み付け部と、この組み付け部を覆うダッシュサイドトリムの一側部との対向面に互いに係合する係合部と係止部を設けたことを特徴とする自動車のダッシュサイドトリムの取付構造。

【請求項2】

上記ダッシュサイドトリムの一側部内面側に係合部として爪部を突設し、この爪部に係合する係止部をインストルメントパネルの外側面に設けたことを特徴とする請求項1に記載の自動車のダッシュサイドトリムの取付構造。

【請求項3】

上記ダッシュサイドトリムの一側部に係合部として係合穴を設け、この係合穴に係合する爪部をインストルメントパネルの外側面に設けたことを特徴とする請求項1に記載の自動車のダッシュサイドトリムの取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、外観の向上を図り得る自動車のダッシュサイドトリムの取付構造に関する。

10

20

【0002】

【従来の技術】

従来の自動車のダッシュサイドトリムの取付構造としては、例えば図6ないし図8に示したものが知られている。

車体前部に設けられたインストルメントパネル100は、図示しないステアリングサポートメンバに取り付けられている。車体下面に配設されたフロアパネル101の前方には、ダッシュパネル102が配設されており、このダッシュパネル102の両側には、ダッシュサイドパネル103が配設されている。このダッシュサイドパネル103は、車体外側を構成するサイドボディアウタパネル104の前端部とともにドア開口部105の前部側、すなわちフロントピラー部106を構成している。ドア開口部105を構成するサイドボディアウタパネル104の下端部は、サイドシルストレングスとともにサイドシル部107を構成しており、上記フロントピラー部106からサイドシル部107にかけてダッシュサイドトリム108が配設されている。

10

【0003】

このダッシュサイドトリム108は、ダッシュサイドパネル103からダッシュサイドパネル103とサイドボディアウタパネル104の接合部109にかけて設けられている。ダッシュサイドトリム108の外側縁部108aは、接合部109を覆うように折り曲げて配設されている。このダッシュサイドトリム108の取り付けは、通常、クリップ110によってダッシュサイドパネル103の取り付け穴111に組み付けられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ダッシュサイドトリム108は、図7のような断面形状になるため、クリップ110による取り付け位置が、ダッシュサイドパネル103の内壁面に限られてしまう。このため、クリップ110による取り付け位置から、ダッシュサイドトリム108の外側縁部108aまでの距離Xが長くなってしまい、外側縁部108aが不安定な状態になってしまう（図8参照）。

20

【0005】

本発明は上記課題を解決し、ダッシュサイドトリムの固定を確実に行うことができる自動車のダッシュサイドトリムの取付構造を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題を解決するため、ダッシュサイドパネルの室内側からフロントピラー部にかけて配設されるダッシュサイドトリムの取付構造において、左右のダッシュサイドパネル相互間に配設されるインストルメントパネルの両側下面に上記ピラー部の接合部に組み付ける組み付け部を設け、この組み付け部と、この組み付け部を覆うダッシュサイドトリムの一側部との対向面に互いに係合する係合部と係止部を設けたことにある。

30

【0007】

本発明によると、ダッシュサイドトリムの組み付けに際して、ダッシュサイドトリムの一側部を、インストルメントパネルの組み付け部の切り欠き部に係合させる。これによって、一側部の先端が固定されるので、ダッシュサイドトリムの一側部の先端がふらつく不具合を防止することができる。

40

【0008】

【発明の実施の形態】

以下本発明の実施の形態を図面を参照しながら詳細に説明する。

図1は、車体側面を示す側面図、図2は図1のインストルメントパネルとダッシュサイドトリムの組み付けを示す斜視図、図3は図2のB-B線断面図である。

図1ないし図3において、1は自動車の車体を示したもので、この車体1の運転席前部には、インストルメントパネル2が配設されている。室内の床面を構成するフロアパネル3の前端部には、エンジンルームと車室内とを仕切るダッシュパネル4が配設されている。このダッシュパネル4の両側には、ダッシュサイドパネル5が配設されている。

50

【0009】

6は車体1側面を構成するサイドボディアウタパネルであり、このサイドボディアウタパネル6には、ドア開口部7が形成されている。このサイドボディアウタパネル6とダッシュサイドパネル5の後端部は、互いに接合されてフロントピラー部8を形成しており、この接合部9の上方にインストルメントパネル2の側面が配置されている。

上記インストルメントパネル2には、両側下面に下方向に向けて突設されたコ字状の組み付け部2aが一体成形されており、この組み付け部2aを接合部9に組み付けて、インストルメントパネル2が取り付けられている。この組み付け部2aの外側先端部には、一部を切り欠いた切り欠き部（係止部）10が設けられている。

【0010】

ダッシュサイドパネル5の室内側には、クリップ等により留められてダッシュサイドトリム11が配設されており、このダッシュサイドトリム11の一側部側後端部には、フロントピラー部8の接合部9からサイドシル部にかけて覆うコ字形部11aが設けられている。このコ字形部11aの先端内側面には、上記組み付け部2aの切り欠き部10に対向して、切り欠き部10に係合する爪部（係合部）12が設けられている。

【0011】

上記構成によると、ダッシュサイドトリム11の組み付けに際して、コ字形部11aの先端爪部12を、インストルメントパネル2の組み付け部2aの切り欠き部10に係合させる。これによって、コ字形部11aの先端が固定されるので、ダッシュサイドトリム11のコ字形部11aの先端がふらつく不具合を防止することができる。

【0012】

次に図4および図5は本発明の変形例で、図4は、インストルメントパネル2の組み付け部2aの外側面に係合突起部（係止部）13を設けたものである。この係合突起部13に、コ字形部11aの先端爪部（係合部）12に係合させるものである。また、図5に示したものは、ダッシュサイドトリム11のコ字形部11aの外側面に係合穴（係合部）14を形成し、この係合穴14に係合突起部13に係合させたものである。この場合、係合穴14の大きさRは、係合突起部13の長さLよりも大きく設定する。

なお、本発明は、上記実施の形態のみに限定されるものではなく、本発明の要旨を変更しない範囲内で適宜変更して実施し得ることは言うまでもない。

【0013】

【発明の効果】

以上述べたように、本発明による自動車のダッシュサイドトリムの取付構造によれば次のような効果を奏することができる。

ダッシュサイドパネルの室内側からフロントピラー部にかけて配設されるダッシュサイドトリムの取付構造において、左右のダッシュサイドパネル相互間に配設されるインストルメントパネルの両側下面に上記ピラー部の接合部に組み付ける組み付け部を設け、この組み付け部と、この組み付け部を覆うダッシュサイドトリムの一側部との対向面に互いに係合する係合部と係止部を設けたので、ダッシュサイドトリムの一側部がふらつく虞がない。また、ダッシュサイドトリムの一側部に係合部を設け、この係合部に係合する係止部をインストルメントパネルの組み付け部に設けて互いに係合させているので、隙間あるいは段差がなくなり外観の向上を図ることができる。

また、ダッシュサイドトリムの一側部内面側に係合部として爪部を突設し、この爪部に係合する係止部をインストルメントパネルの外側面に設けたので、ダッシュサイドトリムの一側部を確実に固定することができる。

さらに、ダッシュサイドトリムの一側部に係合部として係合穴を設け、この係合穴に係合する爪部をインストルメントパネルの外側面に設けたので、ダッシュサイドトリムの一側部を確実に固定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による自動車のダッシュサイドトリムの取付構造の実施の形態を示す車体側面の概念図である。

10

20

30

40

50

【図 2】図 1 のインストルメントパネルに組み付けるダッシュサイドトリムを示す斜視図である。

【図 3】図 2 の B－B 線断面図である。

【図 4】本発明による自動車のダッシュサイドトリムの取付構造の変形例を示す断面図である。

【図 5】本発明による自動車のダッシュサイドトリムの取付構造の変形例を示す断面図である。

【図 6】ドア開口部を見た概念図である。

【図 7】従来の自動車のダッシュサイドトリムの取付構造を示す図 6 の A－A 線断面図である。

10

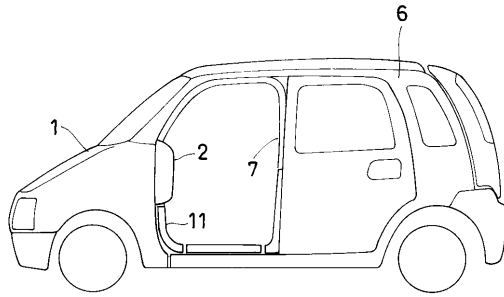
【図 8】図 7 の部分拡大図である。

【符号の説明】

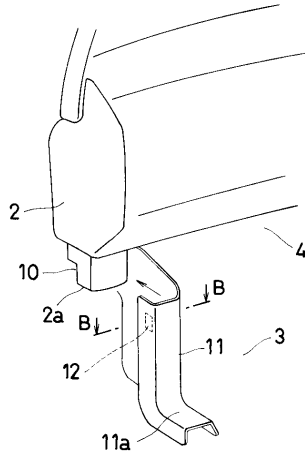
- 1 車体
- 2 インストルメントパネル
- 3 フロアパネル
- 4 ダッシュパネル
- 5 ダッシュサイドパネル
- 6 サイドボデИАウタパネル
- 7 ドア開口部
- 8 フロントピラー部
- 9 接合部
- 10 切り欠き部（係止部）
- 11 ダッシュサイドトリム
- 12 爪部（係合部）
- 13 係合突起部（係止部）
- 14 係合穴（係合部）
- 2a 組み付け部
- 11a コ字形部

20

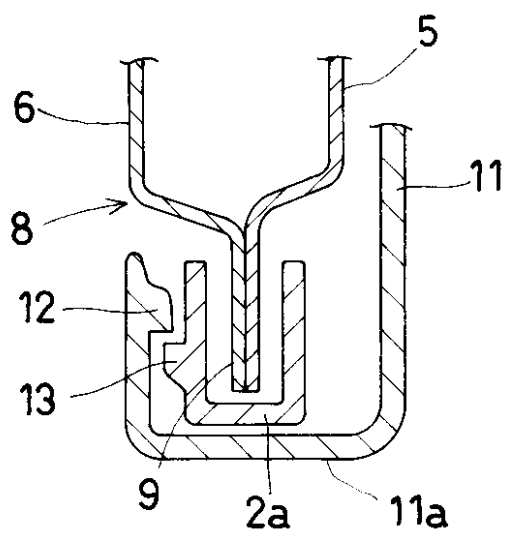
【図 1】



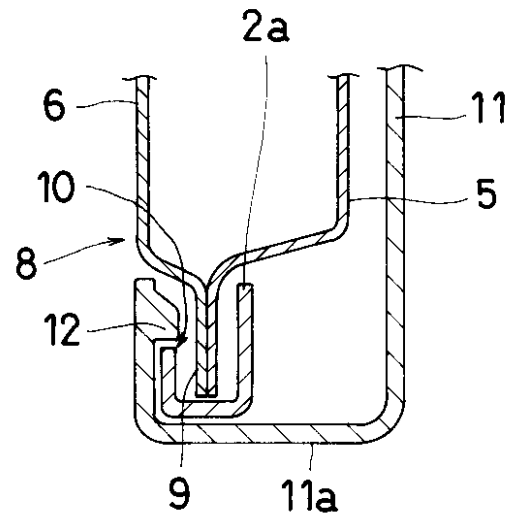
【図 2】



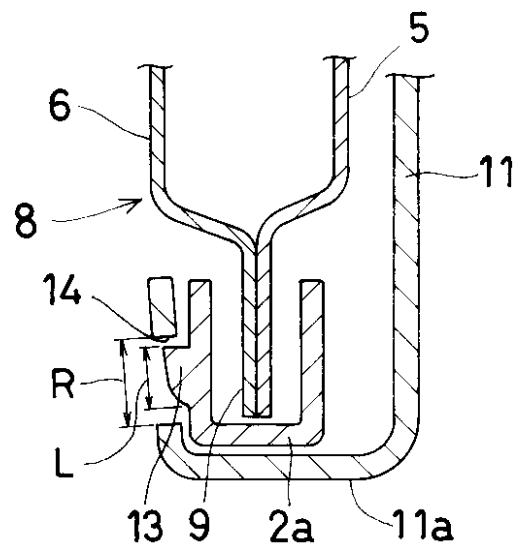
【図 4】



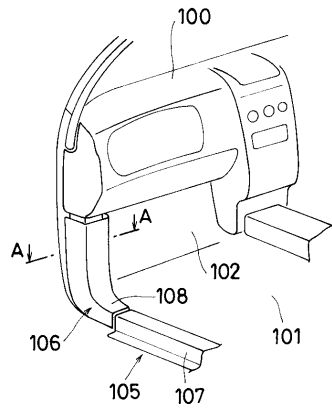
【図 3】



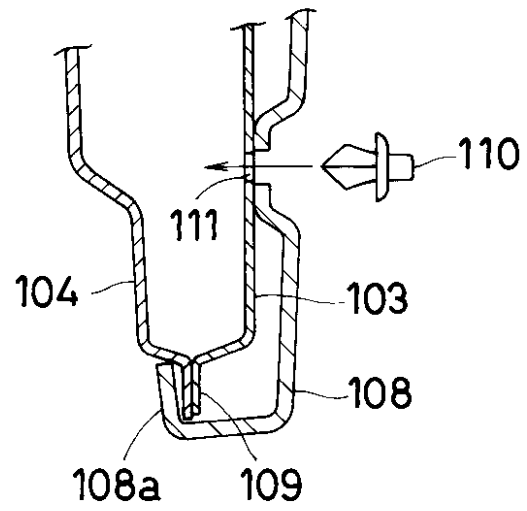
【図 5】



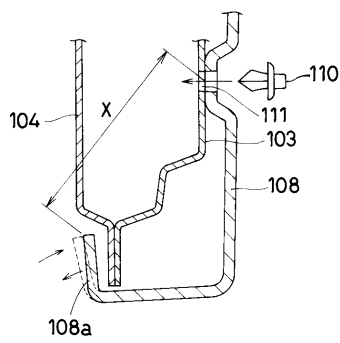
【図 6】



【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 大野 伸司
静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式会社内

審査官 金澤 俊郎

(56)参考文献 実開昭60-152555 (JP, U)
特開平5-270327 (JP, A)
特開平5-270326 (JP, A)
実開平5-32154 (JP, U)
特開平8-282540 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B60R 13/02 - 13/04
B60R 13/08